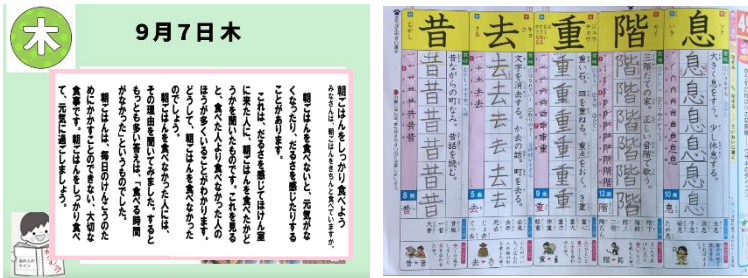


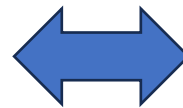
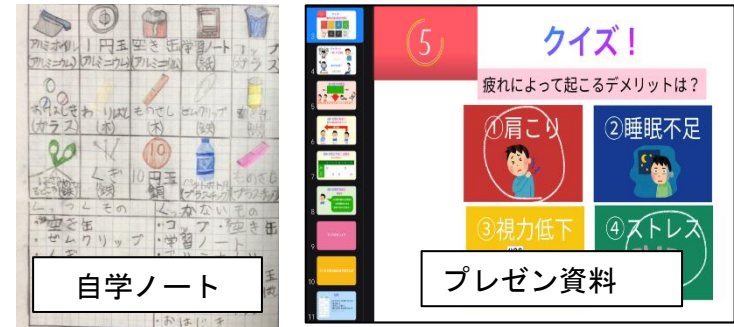
【取組内容③】 基礎基本の定着と主体的な学びを推進する工夫

家庭学習：提出・返却・共有化等、タブレットのよさを活かしながら、基礎基本の定着や主体的な学びの推進を図る。

基礎基本の定着



主体的な学びの推進



《音読練習》

音読については、指定された場所を練習し、カードに録音して提出する。提出箱に全員分がだされるので、これまでのように、一人一人のカードを確認する必要はない。一目で提出・未提出を把握することが可能。

また、ノーマス音読など具体的な課題がある場合、ペアでチェックすることも容易にできる。教師が確認する時間をカットできると共に、音読の向上につながる。

《漢字練習やノート指導》

手書きの漢字練習等についても、写真にとって出すことで、提出・未提出の確認が大幅に楽になる。また、間違った漢字や乱雑な字等をチェックし、一斉返却することで、子どもも、その日のうちに確認、修正、再提出ができるようになる。

《自主学習の学び合い》

宿題だけでなく、家庭での自主学習を進めていきたいが、何を、どのようにやればよいのか、戸惑う子どもも多く、個人差がある。そこで、タブレットの提出箱を、学び合いの場として活用。提出された友達のノートを見て、内容やまとめ方等について、学ぶことができる。また、教師の方からも、個々のノートのよさを容易に紹介することが可能。

《探究学習での学び合い》

総合的な学習等について、家庭学習で調べたり、プレゼン資料をまとめたりしていく。その内容について、提出することで、個々（グループ）の進捗状況を確認したり、内容やまとめ方を学び合ったりする。